

とちぎ産業活力
フォーラム

企業の活力創出へ

第一測工など5社を表彰



福田知事

表彰式では、最優秀賞の大麦工房ロア（足利市）、優秀賞の道の駅し

もつけ（下野市）、タスク（栃木市）、特別賞の佐藤化成工業所（日光市）、第一測工（宇都宮市）の5社に対し、福田知事から表彰状が授与された。

「受賞された企業の活動は、いずれも本県産業の振興や地域経済の活性化に大きく寄与し、その貢献が顕著であると認められた。今後もより多くの企業・団体に応募していただき、本県の中小企業全体の活力創出につながることを期待する」と講評を述べ、併せて産学連携の有効活用を促した。

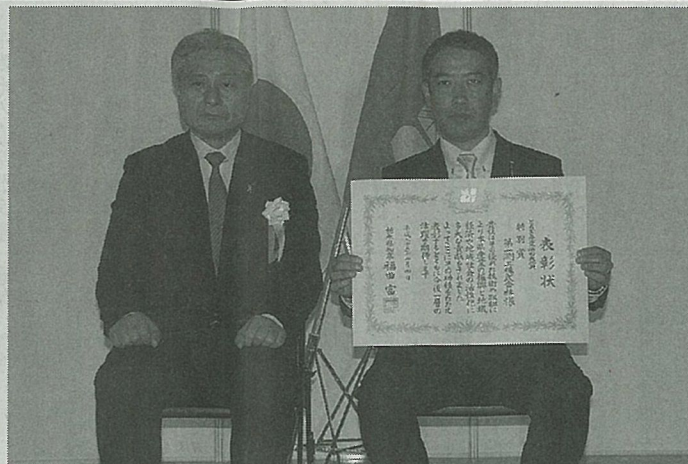
その後、壇上での記念撮影が行われ、受賞者は誇らしげな表情でカメラに収まり、今後のさらなる精進を誓った。

特別賞を受賞した第一測工（小堀俊明代表取締役社長）は、建設コンサルタントとして培ってきた測量等の技術を生かし、地理情報システムを活用した情報サイトの運営で地域活性化に貢献。また、雇用の確保や独自の環境保全活動にも積極的に取り組んでいる点を評価され、今回の受賞となった。

受賞企業による取り組み事例発表が行われた後、NTTデータ経営研究所の齋藤精一郎所長を講師に迎え、「日本経済の先行きを診断する！」と題する講演が開かれた。参加者は独自の経済・景気診断に興味深く耳を傾けていた。

県内中小企業の新事業活動への喚起と活力創出を目的とした「とちぎ産業活力フォーラム2013」が4日、宇都宮市のマロニエプラザで開催された。とちぎ産業活力大賞の表彰式や、受賞企業による取り組み事例の発表が行われたほか、講師を招いての産業活力講演会も開かれた。

様々な分野で本県を代表する成果を挙げられた企業を表彰している。表彰式後には取り組み事例の発表も行われるので、ご参加の皆さんの新たなチャレンジへの参考としていただきたい」と述べる。ともに、県としての継続的な支援と協働の姿勢を示した。



特別賞を受賞した第一測工の小堀代表取締役社長（右）